

鹿児島南高校



[撮影(株)アイオイ・プロフォート]



鹿児島工業高校



[撮影(株)アイオイ・プロフォート]

# 建築職員からの メッセージ 2020



県営松陽台第二団地





照れるので  
写真はNG

# 入庁間もない自分に大きな現場を任せつつ、 陰で見守りながら育ててくれた上司に感動しました。

## 建築課営繕室 鎌田 真嘉

【経歴】平成13年(2001年)4月 採用(加世田土木事務所(現南薩地域振興局)に配属)  
その後、熊毛支庁、鹿児島地域振興局、住宅政策室、教育庁学校施設課等を経て、  
平成29年(2017年)4月 現所属に異動

【資格】一級建築士

### 現在の担当業務

教育庁の所管する県有建築物の整備を担当しています。  
その中でも、鹿児島県内各地に点在している、県立学校  
77校の整備を中心に業務を行っています。  
学校施設は、「友人」や「先生」と長い時間を過ごし、  
人それぞれの『想い』の詰まった空間です。その貴重な空間  
を整備(新築や改修工事)することに、とてもやりがい  
を感じています。

### 県の建築の職場を志望した理由

地元鹿児島で働きたいと思ったことと多くの建物に携わ  
る仕事をしたいと思ったことが県の建築技師を目指すきっ  
かけでした。  
実際に、数多くの民間建物の検査等を行い、県有建物の  
整備を行うことで、建物を「造る楽しさ」や「創造する楽  
しさ」を数多く感じることができています。

### これまでで印象に残った仕事

初めて大きな現場を担当した、鹿児島水産高校の武道場  
改築の現場監理を紹介します。  
当時の係長は、入庁して半年もたたない私一人に「大規  
模建築物の新築現場」を任せられました。しかし、当時  
の私は「何も知らない私を一人で現場に出すなんて! 大丈  
夫なのか?」と不安しかなく、ただ、一生懸命に現場に通  
い、質疑事項を調べる毎日でした。今考えると、仕様書等  
を調べるいい機会になり、今の業務に、とても役立ってい  
ます。  
数年後、そのお世話になった現場代理人にお会いした時  
に、当時の係長が、私一人で現場に行くたびに現場代理人  
と連絡を取り合い、現場代理人を通じて、「質疑事項」や  
「係長からの宿題」を与えていたことを知り、子育てのよ  
うに支えられていたことに感動しました。

### 県職員の魅力ややりがい

県の建築技師の一番の魅力は、勤務する所属によって、  
様々な業務を行うことができることです。  
私自身が配属され所属で紹介すると「地域振興局」では、  
建築基準法に関する業務の他に、県有建築物の整備(設計  
や施工)に関する業務等を行い幅広く業務を行うことがで  
き、「建築課の営繕室」では、県有建築物の整備(設計や  
施工)に特化した業務を行うことができます。また、整備  
を依頼する「学校施設課」では、予算作成や所管する施設  
の整備計画を作成するなど、一般的にいう「建築主の立場  
」での業務も行うことができます。  
県職員は、数年に一度異動があるため、気持ちをリフレ  
ッシュすることができ、そのたびに初心を思い出すことが  
できます。

### 今後やってみたいこと

現在、担当をしている、公募型プロポーザルによる設計  
者選定について、業務を円滑に進め、基本設計及び実施設  
計を順調に進捗させることです。

### 種子島での暮らし

種子島に勤務したときは、「景色」・「空気」・「人(上  
司・同僚・地元の人)」に恵まれ、とても楽しく過ごすこと  
ができ、本土では経験ができないことも経験することがで  
きて、「仕事」も「私生活」も「家族」も、とても充実し  
た3年間でした。

#### <ある1日のスケジュール>

- 8:00 出勤・メールチェック・本日の業務の確認
- 8:30 係内打合せ
- 9:00 設計業者(施工業者)との打合せ事項の確認
- 12:00 昼食
- 13:00 設計打合せ又は工事現場での打合せ
- 15:30 帰庁、打ち合わせ内容の整理
- 20:15 退庁

### 【志望者へのメッセージ】

高校卒業後すぐに就職した私は、「辛いこと」も  
「努力」も「生意気なこと」もたくさん経験してき  
ましたが、いつも先輩方の支えの中で仕事できて  
いたのかなと改めて思い返すことができました。  
安心して入庁してください。





# 新校舎での児童・生徒の嬉しそうな姿をみたとき、人を笑顔にする建築の仕事にやりがいを感じました。

大島支庁建設課 柳田 哲哉

【経歴】平成11年(1999年)4月 採用(加治木土木事務所(現始良・伊佐地域振興局)に配属)その後、住宅政策室、鹿児島地域振興局、教育庁学校施設課、営繕室等を経て、平成30年(2018年)4月 現所属に異動

【資格】一級建築士

## 現在の担当業務

建物を建てるために必要となる建築確認の図面審査や建物の完成検査等、建築基準法に基づく業務を行っています。

また、県立学校や県営住宅といった県有施設の新築や改修等の設計・工事監理、施設の法定点検等、営繕に関する業務や建築確認に関する事前協議への対応といった業務も担当しています。

## 県の建築の職場を志望した理由

元々ものづくりに興味があり、その中でも形としてしっかりと残る建築の仕事に就きたいという思いがありました。

多くの方が利用する公共施設を通して、地元である鹿児島の風土や暮らしに根ざした仕事がしてみたいという思いもあり、その両方が実現できる、県庁の建築技術職員を志望しました。

## これまでで印象に残った仕事

県立鹿児島養護学校の全面移転改築事業に携われたことが非常に印象に残っています。

老朽化した校舎を約2年かけて別の敷地へ移転改築するというもので、多くの方々と協力し合いながら完成に向けて取り組み、新校舎が無事に完成し移転開校できました。

開校記念式典では、新校舎での児童・生徒の嬉しそうな姿をみることができ、人を笑顔にできる建築という仕事にやりがいを感じました。

## 県職員の魅力ややりがい

建築は庁内の各部局や設計事務所の方など様々な人と関わる機会が多い職種だと思います。

各部局が所有する施設に関する相談等を始め、設計や工事監理に関する営繕業務、建築指導や許認可関係の建築行政を通じた民間企業や市町村との連携など、幅広くやり取りを行うことがあります。

### <ある1日のスケジュール>

- 8:30 出勤、メールチェック
- 9:00 確認申請審査業務
- 11:00 設計打合せ
- 12:00 昼食
- 13:00 出張  
(建物完了検査、現場調査、  
施工業者打合せ)
- 16:00 帰庁、各書類事務処理等
- 17:00 退庁
- 18:00 こどもの迎え

## 今後やってみたいこと

現在勤務している大島支庁は世界自然遺産登録を目指している奄美大島にあります。

国指定特別天然記念物であるアマミノクロウサギが生息する自然豊かな場所であり、透きとおる青くきれいな海も多いため、休日を利用して家族でいろいろなところを回ってみたいです。

## 奄美大島での暮らし

初めての離島勤務でもあり、赴任前は期待と若干の不安がありました。私の勤務する奄美大島は、青くきれいな海や豊かな自然など、観光名所も多いことから交通も比較的便利であり、生活面においても不慣れと感ずることはほとんどありません。

週末はたまに家族でカフェめぐりをすることが楽しみの一つです。

## 【志望者へのメッセージ】

鹿児島県は多くの離島を有しており、南北約600kmと広範囲のため、所管する業務や勤務地も広範囲にわたりますが、その分様々な地域の文化・食や歴史に触れ、交流・体験できる機会も多く、大きな魅力の一つだと思います。

ぜひ一緒に頑張ってみませんか。





# 将来の木造建築を担う若者の育成に携われることに大きな責任とやりがいを感じています。

宮之城高等技術専門学校 門原 尚志

【経歴】平成23年(2011年)4月 採用(本庁建築課に配属)

その後、鹿児島地域振興局を経て、  
平成28年(2016年)4月 現所属に異動

【資格】一級建築士

## 現在の担当業務

職業能力開発校で、建築大工に必要な技術・技能を指導する業務を担当しています。建築法規や計画などの学科指導に加え、木材の墨付けや加工などの実技指導も行います。

主に新規学卒者を対象としており、少子高齢化に伴う後継者不足などが社会問題となっている現代において、将来の木造建築を担う若者の育成に携われることに大きな責任とやりがいを感じています。

## 県の建築の職場を志望した理由

大学時代は建築設計に没頭し、授業や研究の傍ら建築雑誌を読み漁り、興味のある建物には実際に足を運び、気の合う仲間たちと「建築」について語り合う日々でした。

そんな中、ある公共施設を訪れた際、地元の子どもたちやお年寄り、観光客など様々な人たちが、自由に各々の時間を過ごしている光景を目の当たりにしました。建前の用途にとらわれない、利用者主体の使われ方がなされているこの施設を体験したとき、当時、公務員に堅い印象を持っていた私は大きな衝撃を受けました。

地元鹿児島県で、いつかこんな公共施設の建設に携わりたいと思ったのが志望する一つのきっかけです。

## これまでで印象に残った仕事

外国人観光客などの集客に取り組む県の港湾プロジェクト「マリンポートかごしま」の親水広場の建設です。

人工島の造成工事と並行して建物の建築に当たったことで、多くの建設業者や他部署の関係者などと協議を幾度となく積み重ねました。

反省すべきことも多々ありましたが、完成した建物を利用する子どもたちの姿を見たときは、今までの苦労が一気に吹き飛び達成感に満たされました。

今では、家族でよく遊びに出かけています。マリンポートかごしまから見る錦江湾に浮かぶ桜島の姿は必見です。

## 県職員の魅力ややりがい

建築分野は幅が広く、建物の企画から設計、施工、維持保全、解体といった一連の建築生産プロセスには、多くのプロフェッショナルたちが関わっています。

県の建築技術職員は、職場のフィールドが広いので、これら全般に関わることができるのが魅力だと思います。

立場上、広域的な視野と高度な判断力が求められ、その一つ一つに大きな責任を負うこととなりますが、他では経験できないことでもあり、このことにやりがいを感じます。

### <ある1日のスケジュール>

- 8:30 始業、メールチェック
- 8:40 朝礼
- 9:00 学科指導準備
- 10:30 学科指導(建築法規)
- 12:00 昼食
- 13:00 実技指導
- 16:00 職員会議
- 17:15 終業
- 18:00 寮生とフットサル

## 今後やってみたいこと

利用者が見えづらい公共空間の創造に携わる者として、まず、一利用者となって日頃から自身の感性を磨くことは大切なことだと考えています。

近所の公園に出かけるにしても、遠方へ旅行するにしても、そこで居心地が良いと感じた空間には、何か魅力が隠されていると思います。

何気ない日常生活の中で、業務に生きるようなアイデアをみつけていきたいです。

## 余暇の過ごし方

休日は、仕事のことは忘れて家族で公園や大型ショッピングモールなどに出かけたりします。

また、幼少期からサッカーをしており、現在は県フットサルリーグに加盟する社会人チームに所属し、月に1回くらいのペースでフットサルの試合をこなします。

職業能力開発校においても、終業後、寮生と共にフットサルで汗を流し充実した日々を過ごしています。

## 【志望者へのメッセージ】

私たち公務員は、全体の奉仕者として公共の利益のために働いています。県民の様々な意見がある中、限られた予算(税金)で物事を前に進めていかななくてはなりません。

とりわけ建築技術職員は、住宅から公共施設まで、暮らしに欠かせない建築物に関わる重要な役割を担っており、とてもやりがいのある職種です。

時代の流れと共に変化する社会のニーズを的確に捉え、柔軟な発想力と創造力を発揮して、鹿児島県の特性を活かした新たな建築文化を一緒に創っていきましょう！





## 学校の施設整備・維持管理を通じて、多くの人と関わりながら様々な業務に携わることが魅力です。

教育委員会 学校施設課 通山 裕治

【経歴】平成30年(2018年)4月 採用(本庁 建築課に配属)

令和2年(2020年)4月 現所属に異動

### 現在の担当業務

県立学校の施設整備や、管理計画、長寿命化計画、備品整備等を担当しています。生徒の安心安全を確保するとともに、より良い学校環境を提供するため、施設整備の計画を作成します。その中で学校の職員・建築の設計事務所・他部局の職員等と打ち合わせを繰り返し、一つの目標に向かい業務に取り組んでいきます。

### 県の建築の職場を志望した理由

私は熊本の大学で建築学を専攻していたため、2016年に起きた熊本地震では、私自身も被災し、その被害の大きさに衝撃を受けました。被災後は仮設団地等に足を運ぶこともよくあり、復興に向けた行政の仕事を実際に目の当たりにしました。そのため、建築という専門分野を活かし、建築物の審査や検査、指導、または、県立学校を含めた県有建築物の設計・工事発注・工事監理や、住宅・まちづくりに関する観点から、鹿児島県民の安心安全な生活に貢献したいと思い、地元である鹿児島県職員を希望しました。

### これまでで印象に残った仕事

建築物の完了検査です。建築物の確認申請を建築基準法等と照らし合わせながら審査を行い、工事が完了した時には完了検査があります。確認申請の審査は書類審査がメインであり、審査中はどれがどうなっているのかが想像し難い部分がありました。工事が完了し、先輩職員と完了検査に行った時に、ここが図面の中ではこのように表現されていて、現場ではこうなっているなどと先輩職員に教えてもらいました。その時に、建築物の検査をし、法適合を確認することで、多くの人々が安心安全に建築物を利用できるようになると実感できたことが印象に残っています。

### 県職員の魅力ややりがい

県職員の仕事は幅広く、特に建築職においては、学校施設の整備や、建築物の審査や検査、営繕、住宅・まちづくりなど多岐に渡ることです。そのため異動の度に、新しい事業や業務と向き合うことになるため、幅広くそして深い知識を身につけていくことができます。また、建築職員のみではなく、県職員同士での交流の場等もあり、交友関係の幅が広がるのも魅力の一つです。

#### <ある1日のスケジュール>

- 8:30 出勤、メールチェック、スケジュールの確認、準備
- 9:00 出張、(学校と打ち合わせ)
- 12:00 昼食
- 13:00 帰庁、(書類整理)
- 14:00 建築課や建築設計事務所との打合せ
- 15:30 資料作成
- 17:15 翌日の打合せに向けて資料のチェック
- 17:30 退庁

### 今後やってみたいこと

県立学校施設の現状を確認するために、直接学校に足を運ぶことがあります。担当している学校が多ければ、その分出張も多く離島も含め県内あちこちに足を運ぶ機会が増えていきます。しかし、現状ではまだまだ自分の持っている知識も浅く、周りの方々に迷惑をかけているので、多くの現場を見てどのように整備をすれば、学校施設の最適な活用に繋がるのかを考え、もっと勉強をしていきたいと思っています。

### 余暇の過ごし方

仕事終わりや休日にはソフトボールをすることなど体を動かすことが多いです。体を動かすことで、とてもいい気分転換になります。就職をしてからの方が、学生の時よりも運動をする機会が増えたような気もしています。公務員は休みの日が決まっているため、先の予定が立てやすく、仕事とプライベートにメリハリがつけやすく、公私ともに充実した日々を過ごせています。

### 【志望者へのメッセージ】

県職員は仕事の幅が広く、どのような仕事をしているか想像がしにくいかもしれません。しかし裏返せば、それほどたくさん、言葉で言い表せないほどの魅力ある仕事ができる業種であるということです。みなさんが学生時代に学んだ知識や経験は、必ず県民の方の役に立ちます。ぜひとも一緒に仕事をしてみませんか。





## 初めての工事監理で母校の高校を担当し、 無事に工事が完成したときは感動しました。

建築課住宅政策室 平野 翔太

【経歴】平成30年(2018年)4月 採用(鹿児島地域振興局に配属)住宅施策室  
令和2年(2020年)4月 現所属に異動

### 現在の担当業務

空き家対策の推進に関する事や木造住宅の振興、住リフォームの促進など住宅政策に係る業務を行っています。特に空き家については、本県の空き家率が全国的に高いことから、県民からの関心も強く、鹿児島県として重要な課題です。取組としては、市町村が講じる空き家対策措置への支援や情報提供、適正管理の啓発等を担当しています。

### 県の建築の職場を志望した理由

生まれ育ったこの鹿児島において、より安心安全に暮らすことができる住環境、そして魅力あるまちづくりの実現に尽力したいと思い志望しました。また、多様な生活文化や地域特性をもつ鹿児島であれば、建築的な知識や経験だけでなく、多様な面での経験ができると考えたからです。

### これまでで印象に残った仕事

初めての工事監理で、母校である高等学校を担当したことです。計画通りそして何より無事故で工事が完成できるよう、同じ方向を目指し施工業者や学校関係者と打合せを重ねます。その過程を通じて無事工事が完成した際は、自分が高校に在籍していた10年前とは見違えるほどきれいにあり、工事に携われた職員として感動しました。

### 県職員の魅力ややりがい

県職員とは、「鹿児島のために」という気持ちをもって働くことができる理想的な職業だと思います。日々の業務のなかで、困難な問題に直面した際、投げ出したいくなることもあると思います。ただ、どんなに小さい問題でも、私たちに求められている仕事は「鹿児島のために」直結する仕事です。だからこそやりがいがあるのだと思います。

### 今後やってみたいこと

離島もしくは自分にとって未だにゆかりの無い地域にて、建築の業務に携わりたいと考えています。同じ鹿児島県内においても、地域が違えばその場所で必要とされる建築物の用途は異なります。そこに暮らす人の考え方や習慣も違ってくると思います。だからこそ、様々な環境下でチャレンジしてみたいと考えています。

### 休日の過ごし方

県庁入庁直後より、建築職員で構成されたソフトボールのチームに入っています。活動としても非常に楽しいのですが、何より部署が違う上司や同期と気軽に会話ができる機会でもあり、こういった場に参加することで日頃から声をかけていただいたり、助言をいただいたりと仕事に好循環が生まれていると思います。

### 【志望者へのメッセージ】

県職員と一言でいっても、本庁以外に多くの出先機関があり、仕事をする環境は様々です。また、建築職は事務所で業務をこなすだけでなく、現場に直接足を運ぶことが多い職種です。そのため、覚えることも多くありますが、それだけ必要とされる仕事であり、成長させてくれる職業です。鹿児島のために、一緒に働ける日を楽しみにしています。

#### <ある1日のスケジュール>

- 8:30 出勤、スケジュール確認、メールチェック
- 9:00 市町村への各種調査依頼及びとりまとめ(調査内容:住宅や空き家等に関する事)
- 12:00 昼食
- 13:00 空き家に関する事業の進捗管理
- 16:00 上司への連絡・相談・質問(事業の進捗具合を上司へ報告等)
- 18:00 退庁





## 建築物に関わる多くの人々とやりとりを重ねながら、納得のいく仕事ができたとときにやりがいを感じます。

港湾空港課【電気職】 椎木 翔太

【経歴】平成28年(2016年)4月 採用～令和2年(2020年)3月 建築課営繕室  
令和2年(2020年)4月～現所属

### 現在の担当業務の紹介

鹿児島県が管理している離島7空港の維持管理や、設備の更新に伴う工事発注、予算の調整などを行っています。飛行機が通常通り運行できるように、各空港の設備更新や工事を計画に沿って行い、また、台風や地震など自然災害などがあつた際には、空港の設備（主に灯火設備）に異常がないか確認・対応を行います。

### 県の建築の職場を志望した理由

小さい頃から電気工作が好きで、大学、就職と電気の道に進みました。県の電気職は県内全域を担当しており、建築物の設計・工事・管理と全てに関わることができるため、幅広い経験ができると思い志望しました。実際に、観光地のトイレから大規模施設、トンネルや道路の電気設備も担当し、現在では空港の電気設備に携わっており、とても幅広い経験をすることができています。

### これまでで印象に残った仕事

マリンポートかごしまに2018年にオープンした“かごしまクルーズターミナル”です。海外からのクルーズ客船が寄港するため、建物の中に、C I Q（税関・入出国管理・検疫）、待合所などの施設が入っています。設計段階から工事完成まで携わっていたのですが、日本の海の玄関口ということもあり、入税関など多くの関係部署からの意見を反映し、調整することに苦労しました。無事に完成した際にはニュースにも取り上げられ、うれしく思いました。

### 県職員の魅力ややりがい

建築物は、使用者や施工業者など多くの人に関わって完成します。多くの関係者とやりとりを行い、納得のいく物ができあがつたときやりがいを感じます。また、ニュースなどで取り上げられる施設を担当した際には、プレッシャーもありますが、注目されている施設である分、一段とやる気ができます。

### 今後やってみたいこと

電気技師の仕事は多岐にわたっており、弱電から強電、通信や庁舎の管理なども行っています。私が配属されていた県有施設の建設や空港の維持管理を行う部署の他に、警察・危機管理局・庁舎管理などがあります。それぞれの部署で仕事内容は大きく変わるため、違う部署でも、新しい経験や知識を身につけたいです。

### 余暇の過ごし方

定時後や休日は趣味のバドミントンをしています。社会人クラブに所属し、現在も大会に参加しています。また、定期的に休みが取りやすいため、キャンピングカーで旅に出たりしています。目指すは全都道府県制覇です。

### 【志望者へのメッセージ】

県の電気の仕事は多岐にわたっているため幅広い経験が出来ます。また、若い人にも大きな仕事を任せられる為、大変なこともあります。そのぶん達成感も大きいです。明るい職場ですので、大変な時でも周りの先輩・同僚と相談しながら仕事を進められます。離島も含め県内全域に出張するため、各地のおいしいご飯が食べられますよ！

### ＜ある1日のスケジュール＞

- 8：30 登庁
- 8：30 メールチェック
- 9：00 各空港管理事務所からの報告書チェック
- 12：00 昼食
- 13：00 設計事務所との打合せ
- 16：00 発注工事設計書作成
- 17：15 退庁





# 設備を通じて快適性や利便性の向上に寄与できます。 大規模な建築物に携わる機会があるのも魅力です。

建築課営繕室【設備職】 中園 善紀

【経歴】平成29年(2017年)4月 採用, 現所属に配属

【資格】一級管工事施工管理技士

## 現在の担当業務

県有建築物の新築又は改修工事の空調・衛生設備における、設計・工事発注及び監督業務を行っています。

設計・工事発注では、設計図面の作成や工事費の積算等を行い、工事を発注します。設計においては、建物管理者の要望や美観を考慮し、安全で使いやすい施設となるように心がけて作業しています。監督業務では、工事現場の安全性の確保や環境に配慮した施工により、高い品質が確保された施設の完成を目指し、業務を行っています。

## 県の建築の職場を志望した理由

以前は県外の民間企業で同様な空調設備の仕事をしていたのですが、故郷の鹿児島で、公共の建物に携わる仕事がしたいと思い志望しました。

民間で培った経験を県の事業に活かすことができるという点も志望した理由の一つです。

## これまでで印象に残った仕事

1年目の時に担当した霧島市にある研修施設の空調改修工事が印象に残っています。

小学生のところに宿泊したこともあり、思い出の場所だったのですが、そこでは故障によりレストランの空調が長年使えないまま運営されていました。そのレストランの空調機器の更新を行い、後日、施設の方から快適に使用できると御礼を言われたときは、この仕事の意義を強く感じました。

## 県職員の魅力ややりがい

県が有する建築物は、大勢の方が集う公共の施設から、学校、住宅などと多岐に渡ります。その建物の設備を通して、県民の皆様の快適性、利便性の向上に寄与できることにやりがいを感じます。また、県内で話題になるような大規模な建築物に携われるのも魅力の一つです。

### <ある1日のスケジュール>

- 8:30 出勤, メールチェック
- 9:00 提出された書類の確認  
(工事の計画書や承諾函など)
- 10:00 工事発注用の伺い作成
- 12:00 昼食
- 13:00 出張(担当現場の検査)
- 17:00 帰庁, 書類整理
- 17:30 退庁

## 今後やってみたいこと

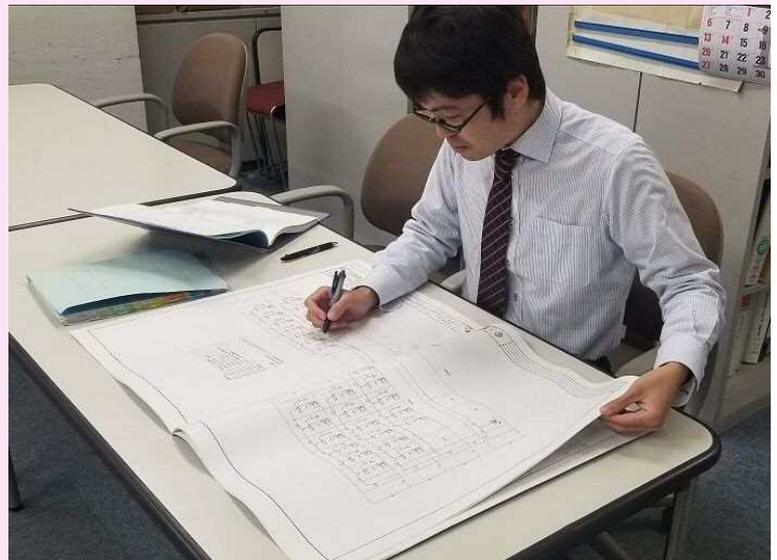
資格の勉強に励みたいと思います。現在一級管工事施工管理技士の資格は持っていますが、設備に関する資格は他にもまだ多数あります。資格の取得を目的とするということではなく、そのための勉強をすることで、知識を深めたり、また、見聞を広めたりすることが出来ると思うため、今後取り組んでいきたいと考えています。

## 余暇の過ごし方

休みの日は妻と1歳になる息子となるべく出かけるようにしています。最近少しずつですが子供が歩くようになったため、鹿児島市近郊の公園や広場に行き、一緒に遊んでいます。日々業務に取り組む中で、週末に家族と触れ合う時間は、私にとって最高にリフレッシュできるひと時です。

## 【志望者へのメッセージ】

設備の整備は、人々の快適性を確保するという、いわば人間生活にあって当たり前のものを供給する仕事だと思います。この当たり前のものを整備し、更新していくことで県民の皆様が安心・安全な生活を送ることの一助になればと思い日々業務に励んでいます。あなたたちが学んできたことや経験してきたことは必ずこの仕事に活かせると思います。共に頑張りましょう。





# 都市計画や住宅施策など様々な仕事に携わることで、自分のスキルや見識の向上を図れることが魅力です。

## 建築課宮繕室 森島 貴之

【経歴】平成25年(2013年)4月 採用（北薩地域振興局に配属）  
平成28年(2016年)4月 建築課住宅政策室に異動  
平成31年(2019年)4月 現所属に異動

### 現在の担当業務

県の公共施設等の新築や改修などに伴う、設計・工事に関する業務や、公共工事における基準等の見直し・改定等の業務を行っています。

設計・工事に関する業務では、設計に伴う建築設計事務所との打合せや図面のチェック、工事発注に伴う図面の精査や工事費の積算などを行います。

公共工事に伴う基準等の見直し・改定等の業務では、会議等による他県との情報交換をもとに積算基準等を見直しや、市町村への情報提供等を行っています。

### 県の建築の職場を志望した理由

大学で建築を学び、公共建築物の規模の大きさや、まちづくり・地域形成への影響力の大きさなどに魅力を感じており、人口減少に伴う空き家の増加や、超高齢社会にともなう住まい方の変化など、建築をとおした様々な業務に携われないかと思い県の職員を希望しました。

県では、離島を含めた様々な地域にも事務所があり、いろいろな地域でのくらしを体験できるのも、ひとつの魅力かもしれません。

### これまでで印象に残った仕事

現在も担当している、県営住宅の新築工事です。現場を担当してもらっている担当職員の方や、工事をとり仕切る施工業者の方々、その他多くの県職員・現場の職人さん方の助けを頂きながら、計画が形になっていくところに毎回感動しています。完成後の見学会などで、少しでも喜んでいただけた様子を目の当たりにした時など、より一層の励みになります。

### 県職員の魅力ややりがい

私自身、現在の所属が3箇所目になりますが、働く地域だけでなく、仕事の内容も違いがあります。最初の所属では、主に民間建築物の審査や公共建築物の工事監理を、現在の所属では、県営住宅関係の業務を行っています。その他にも都市計画や住宅施策に携わる部署での今後の勤務もありえます。様々な仕事に携われること、またそれを通じて自分のスキルや見識の向上がはかれることなどは、大きな魅力ではないかと思えます。

#### <ある1日のスケジュール>

- 8:30 出勤、設計図書チェック
- 10:30 設計事務所との打合せ
- 12:00 昼食
- 13:00 工事発注書類の作成
- 17:15 退庁

### 今後やってみたいこと

まずは、今の業務をより自分のものにできるように、日々励みたいと思っています。

建築職で採用されましたが、今後はよりフレキシブルに所属・職種間の垣根を越えた活躍が必要とされてくるものだと思うので、そのような時に活躍できるように、今の業務から様々なことを習得していきたい。

### 余暇の過ごし方

写真を趣味にしているので、休日はもっぱら県内各地に写真を撮りに行っております。

私の最初の所属は薩摩川内市にある北薩地域振興局でしたが、勤務していた約3年間の間に、周辺市町も含め様々な場所を巡ることができました。現在は県庁勤務で、休日は主に薩摩半島を巡っていますが、今後の所属異動によって、大隅や離島で写真が撮れることも楽しみです。

### 【志望者へのメッセージ】

県有建築物の設計・工事監理や民間建築物への指導・審査、街づくりや住宅施策など様々な分野に携わることのできる、とてもやりがいのある職場です。

また、様々な地域で、いろいろな方々との関わりが得られるとても面白い職場でもあります。





# 仕事を通して建築の素晴らしさと楽しさを感じます。 鹿児島県の魅力を知り、もっと好きになれるかも。

北薩地域振興局土木建築課 上水流 智保

【経歴】平成30年(2018年)4月 採用, 現所属に配属

## 現在の担当業務

日頃は、建築工事着手前に申請される建築確認の審査や完了検査、建築に関する各種届出の受付・処理などを行っています。

また、県有建築物の工事監理として、共同住宅の外壁改修工事を担当しています。初めての自分の現場で分からないことばかりですが、先輩職員の方々に教えていただきながら、工事の流れや施工業者から提出される資料の内容など、徐々に理解を深めていくことができました。

先輩職員の方から教えていただいたことをしっかりと記録し、これからの仕事に役立てていきたいです。

## 県の建築の職場を志望した理由

私の母校では大規模な改修工事が行われており、工事の過程を着工から竣工まで常に校舎から観察していました。3年生の時には新校舎が完成し、生徒たちが校舎に押し寄せ、喜ぶ姿や驚く姿を目にしました。

後にその工事は県が発注したものと知り、母校で行われた県職員の方々による進路ガイダンスに参加しました。その時に建築の職員の方から直接仕事の内容や、やりがいを聞くことができ、皆が誇れる魅力あるまちづくりに貢献したいという思いを強くし、志望しました。

## これまでで印象に残った仕事

自分が確認申請の審査をした住宅が完成し、完了検査に行ったときです。

入庁して間もない頃に教わりながら審査した図面が、本物の建物となって目の前に現れ、記載されているとおりの室内を見たときに、とても感動したことを覚えています。

紙に書いた図を本物の建物にしてしまう、建築の素晴らしさと楽しさを感じ、達成感でいっぱいになりました。

## 県職員の魅力ややりがい

今まで知らなかった鹿児島県の様々な建築物を見ることができたり、各地域の人たちや自然と関わることができたりすることです。検査や現地調査で現場へ向かう度に、鹿児島県の色々な場所で思い出ができます。

さらに建築という職業は形に残すことができます。仕事を通して鹿児島県の魅力を知り、鹿児島県をもっともっと好きになれるのではないかと私は思います。

### <ある1日のスケジュール>

- 8:30 出勤, メールのチェック
- 9:00 現場(完了検査, 道路調査等)
- 12:00 昼食
- 13:00 検査済証等作成
- 14:00 建築確認申請の審査, 電話対応, 届出等の受付
- 17:30 退庁

## 今後やってみたいこと

私が県職員を目指すきっかけになった県立学校の工事など、大規模な工事を担当してみたいです。そのためには、今後いろいろな場面を経験しつつ、一つ一つの仕事を大切に知識を深めていけたらと思います。

そして、自分がそうだったように、誰かに自分の現場を見て「県職員になりたい!」と、思ってもらえたらうれしいです。

## 余暇の過ごし方

去年の春に車の免許を取得し、運転にも慣れてきたので、よくドライブに出かけます。

私の実家は地方で交通手段が厳しく、学生の時は遠くに出かける機会が少なかったので、自分で好きなところに行くことができるのはとても嬉しいです。

これからも愛車と色々なところに探検に行き、お気に入りの場所を見つけたいです。

## 【志望者へのメッセージ】

「建築」という分野に様々な角度から携わることができる、とてもやりがいのある仕事です。今まで知らなかった建築の楽しさも仕事を通して再発見できると思います。

一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。





# 規模が大きく、公共性の高い仕事ができます。 完成後多くの方に利用してもらえるのが嬉しいです。

## 建築課住宅政策室 甲斐 弥々日

【経歴】平成16年(2004年)4月 採用(本庁住宅課に配属)  
その後、営繕室、鹿児島地域振興局、南薩地域振興局を経て、  
平成30年(2018年)4月 現所属に異動  
【資格】二級建築士

### 現在の担当業務

県では、県営住宅の長寿命化とストックの有効活用を図りながら、建替えや改善工事等の住宅整備を進めています。その中で、住宅の長寿命化計画に関すること及び工事の予算管理を含めた進行管理を主に担当しています。限られた予算の中で整備を進めていくために、どのような課題があり、何を優先すべきかを考えながら業務に当たるようにしています。

### 県の建築の職場を志望した理由

県有建築物とひとこと言っても、公園内の小さなトイレからホールを有する大きな集会施設、学校や住宅等多種あります。様々な建築物の仕事に携われること、また、新築時だけでなく、その後の維持管理を通して建築物がどのように変化していくかも見られることに魅力を感じて志望しました。

### これまでで印象に残った仕事

母校である県立高校の改築工事を担当したことです。思いつくところの校舎を解体する際は寂しさもありましたが、厳しい施工条件の中、課題を乗り越えるために施工者や先生方と協議を重ねながら工事を進めていきました。校舎が完成し、生徒達に喜ばれているのを見たときはとても嬉しかったです。また、在校生を対象に工事内容等の説明会を行ったことも印象に残っています。

### 県職員の魅力ややりがい

携わる仕事の規模の大きさは1つの魅力です。また、公共性の高い建築物が多く、完成後にたくさんの方に利用されているところを見ることができると、担当してよかったなあ嬉しくなります。家族や友人など身近な人に見てもらえると少し誇らしく感じることもあり、そういった思いがやりがいに繋がっていると思います。

### 今後やってみたいこと

現在、2020年に開催されるかごしま国体に向けて色々な施設整備が行われていますが、競技場やスポーツ施設の整備現場を見るのはとても興味深いです。機会があれば、そのようなスポーツ施設の整備に携わってみたいと思っています。

### 出先機関での勤務

地域振興局等の出先機関の勤務では、現場に行く途中で景色の綺麗なところを見つけたり、地元の方に地域の伝統的な行事を教えてもらったりと、その地方の色々なことを知っていくのはとても面白いです。鹿児島県に住んでいても知らないことだらけだなあと驚かされます。各地の特産品など、美味しいものを食べることも楽しみです。

### 【志望者へのメッセージ】

実際に県で働き始めてみると、学校や図書館、体育館など、これまでの生活の中で何気なく利用していた施設に県有建築物があるということに気づきました。そこでの思い出のある建築物もあります。自分が携わった建築物がたくさんの方に利用されて、思い出の中に残っていくって凄いなあと思いますし、素敵だと思いませんか？先輩方も気さくな方が多く、雰囲気の良い職場です。そんな私たちの仲間に加わってもらえたら嬉しいです。

### <ある1日のスケジュール>

- 8:30 出勤、メールチェック
- 9:00 係内打合せ(予定や各業務の進捗確認)
- 10:30 出張  
(改善工事計画のある団地にて  
入居者へ計画内容の説明)
- 12:00 昼食
- 13:00 帰庁  
発注予定工事の設計書チェック  
地域振興局担当者と電話で打合せ
- 15:00 予算要求資料作成
- 17:15 退庁
- 19:00 帰宅。夕食づくり等の家事
- 20:30 夫と夕食





# 業務領域が広く、いろいろな経験が出来ます。 地域を知り、多くの人と触れあえることも魅力です。

熊毛支庁建設課 村元 航大

【経歴】平成27年(2015年)4月 採用（本庁建築課に配属）  
平成30年(2018年)4月 現所属に異動

【資格】一級建築士，建築基準適合判定資格者

## 現在の担当業務

現在は、主に建築基準法に関連する各種申請や届出の審査、県有建築物の改修工事の監理を行っています。申請や届出にあたっては県民の方や業者の方から事前に相談を受けることもあるので、関係する基準を守るよう適切に指導・助言を行います。改修工事の監理では、決められた工期と予算の中で工事が完成するよう、施工者の方々と協力して工事を進めていきます。

## 県の建築の職場を志望した理由

県有建築物の工事に携わることができることや建築に係る行政の業務に興味があったからです。また、県の職員は建築に関して幅広い分野で、そして県内全域で業務があるので、自分の知らない建築を知ることができるのではないかと思います。

## これまでで印象に残った仕事

二級・木造建築士試験の採点に同行したことです。採点を行っていただく方々に同行し、試験採点事務のサポートを行います。チェックすべき項目を確認しながら、各図面の採点が実施されていきます。微妙な違いで合否が決まる過程を間近でサポートできる県の職員でしか経験できない業務の一つです。問題なく試験が実施されるように関係者と連絡を取りながら進めていきます。試験実施前の準備から合格発表までに携わることができ、責任とやりがいを感じました。

## 県職員の魅力ややりがい

「建築」といっても、図面審査や相談対応、都市計画、宅地造成、耐震など、とても幅広い業務があり、いろいろな経験ができることです。また、県は出先事務所がいくつかあり、県内各地で勤務する機会があるので、各地の文化や人々にも触れることができます。多くの方とふれあう機会があり、建築に関する技術面でのことはもちろん、地域のことなど多くのことを知ることができることも魅力の一つです。

### <ある1日のスケジュール>

- 8:30 出勤，メールチェック
- 9:00 図面審査  
(建築基準法の規定による確認申請書)
- 11:00 来客対応  
(計画中の建築物に関して相談対応)
- 12:00 昼食
- 13:00 現場  
(施工業者との工程会議，住宅完成に伴う完了検査)
- 16:30 帰庁，報告書等作成
- 17:30 退庁

## 今後やってみたいこと

熊毛支庁での業務で初めて工事監理を行っているのですが、これからたくさんの現場を担当して「この現場は自分が担当した」という建築物を増やしていきたいと感じました。また、工事を監理するにあたって、施工に関する知識が少ないと実感したので、経験を積むこととあわせて、知識も身につけられるように勉強もやっていきたいと思っています。

## 種子島での暮らし

私は、熊毛支庁に勤務することになり、初めて鹿児島市以外の市町村に住むことになりました。初めは、離島のイメージとして不便なことがたくさんあるのだらうと思っていましたが、ネット環境が整備されているので不便はなく、海がとても綺麗であったり、人が温かいのですのですぐに仲良くなれたりと充実した生活が過ごせています。また、種子島ではロケットの発射があります。鹿児島市にいるときにはなかなか見る機会はありませんでしたが、こちらでは気軽に見に行くことができるので種子島ならではの経験もできています。

## 【志望者へのメッセージ】

現在、県の建築技術職員は限られた人数で業務をしているので、多くの入庁希望者を待っています。先輩方も優しく、仕事のことはもちろんですがプライベートなことでも相談できる環境があります。仕事だけでなく趣味なども打ち込める環境があるので、充実した社会人生活が過ごせると思います。

